おかちまち たいとう

台東区立御徒町台東中学校　学校だより　第９号
令和４年１２月２３日(金)
校長　福沢　俊之
TEL　03(3831)3787

学校ホームページ
http://www.taitocity.net/okachimachitaito-jhs
↑更新中

12月

「青少年の声を聞こう」より　－第20回ボランティア共和国－

校長　福沢俊之

10日(土)、例年行われている合同弁論大会(東京上野ライオンズクラブ主催　黒門小、忍岡小、忍岡中、本校の4校が参加)が開催されました。本校からは、5名の生徒が参加し、それぞれの考えを個性豊かに披露してくれました。その内容を紹介します。

《　１年　　「ギネスに挑戦」　》

コロナ禍にあって子供達が世界にチャレンジできる場として、寿児童館で開催された企画「 30 秒で最も多く片足で横とびをした数」に参加、 108 回を飛び、見事ギネス世界記録の認定を受けたとのこと。表彰式で聞いた言葉「失敗することは耐えられるが、挑戦しないでいることは耐えられない。」は、認定証をもらった喜びと共に、まさに自身のここまでの道のりを表す言葉として大切に心に刻まれたようでした。

《　１年　　「現代だから感じる伝統工芸品の魅力」　》

学校での調べ学習で東京の伝統工芸品である「東京琴」を調べてその魅力に心を打たれた経験から伝統工芸品の魅力として、・技術が受け継がれてきた長い歴史、・職人の高い技術と心のこもった手作りならではの温もり、・世界に一つしかない貴重品としての価値、を挙げ、「温故知新」という故事成語を引きながら、現代の技術を認めつつ、伝統工芸品の素晴らしさを説得力をもって語ってくれました。

《　２年　　「チームワークについて」　》

冒頭にワールドカップサッカーの日本チームの活躍を紹介しながら、「チームワーク」について論じてくれました。「グループ」とは違う「チーム」という言葉ですが、指示や意見をお互いにスムーズに伝え合うことができること、チームの一人一人が自主的にもつ目標とチーム全体の目標が一致していることによって成果(勝利)を得ることができる、コロナ禍にあってのチームワークの大切さも語ってくれました。

《　２年　　「きれいごとを貫く」　》

冒頭、紛争や戦闘の起こっている地域で明日を失ってしまうかもしれない人たちの命をつなぐ医師になりたい、という夢を紹介してくれました。その理由として、戦争や紛争を理由に適切な治療が受けられず救えない命があるのは間違っている、生きたくとも国のために明日を失うかもしれない人を助けたい、を挙げ、きれい事だと言われてもそれを貫けばいつかは本物になるという思いを語ってくれました。

《　３年　　「私を成長させてくれた部活動」　》

吹奏楽部に入部した当初、先輩の出す音に圧倒され自信をなくしかけたが、毎日楽しそうに練習をしている先輩の姿に憧れを抱き日々の練習に励むようになりました。副部長になった2年の秋、忙しさから純粋に音を出すことの楽しさを忘れていたことに気づき、基礎練から力を入れた結果、技術も向上し、二年連続金賞を受賞。自分を知り、多くのことを学んだ部活動、その素晴らしさを語ってくれました。

参加した5名の弁士のみなさんは、この弁論の原稿を書くにあたって、身の回りのことに関心を寄せたり、自分の気持ちと向き合ったりしながら、自分の考えを言葉に表現する作業を丁寧に行ってきたことと思います。そのような言葉の連なりは、聞く人の心を動かす文章になっていきました。明日から冬季休業になります。家族や親戚との会話、少し時間をかけての読書、映画やドラマなど、いろいろな文章に触れて、自分なりの考えをもつ機会をつくってみましょう。

税の標語

東京上野税務署長賞

（2－4）
「税金は　経済回す　エネルギー」

全国間税会総連合会入選

（1－1）
「たくさんの　笑顔のために　税金を」

読書感想文コンクール

区優秀賞・都出品作品

（2－4）　　作品名「よるのばけものときょうしつのばけもの」
本題名「よるのばけもの」　　著者：住野　よる

区佳作

（1－2）　作品名「多様性はらくじゃない」
本題名「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」　　著者：ブレイディ　みかこ

区佳作

（3－3）　　作品名「難聴とかかわりあっていく中で」
本題名「レインツリーの国」　　著者：有川　浩

創造ものづくりフェアin TOKYO 生徒作品コンクール

第1位　（3－4）　　第2位　（3－1）

奨励賞　（3－1）、　（3－1）、　（3－3）
（3－4）、　（3－4）、　（3－4）

第20回ボランティア共和国

小・中学校合同弁論大会

最優秀賞

（2－1）
「チームワークについて」

優秀賞

（2－4）
「きれいごとを貫く」

上野の森ハーフマラソン・10kmマラソン

ボランティア参加者

（3－1）、（3－1）、（3－1）、（3－2）、
（3－3）、（3－4）、（3－4）
（2－1）、（2－1）、（2－3）、
（2－3）

12 月 18 日(日)に上野公園にて「上野の森ハーフマラソン」が開催されました。朝 6:30 の集合でしたが、11 名の生徒が参加をしました。ボランティアとして、一生懸命に給水場のお手伝いやコースガイドを行い、選手の応援をしました。また、最後のゴミの片付けや机の片付けもみんなで協力して素早くできました。ランナーから「みんなのおかげで、楽しくは走れたよ」と声をかけていただきました。生徒の励みにもなり、素晴らしいボランティア活動になりました。